

## (1) 実証実験の実施場所

鹿児島県立図書館及び鹿児島市立美術館周辺

## (2) 実証実験の内容

### 実験① 石垣等のライトアップ

- 既存の景観資源を活かした歩行空間とするため、石垣や水路を照らした。



### 実験② 歩行空間のライトアップ

- 安心感があり歩きやすい歩行空間とするため、木柵付近に照明を設置し、歩道を照らした。



### 実験③ 既存街路灯(5灯)の色温度変更

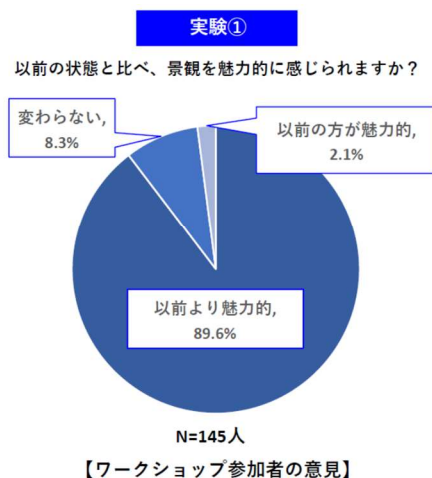
- 市道美術館横線の街路灯の明かりの色が白く際立って見えるため、既存ガス灯などの周囲の景観に配慮した色温度に変更した。



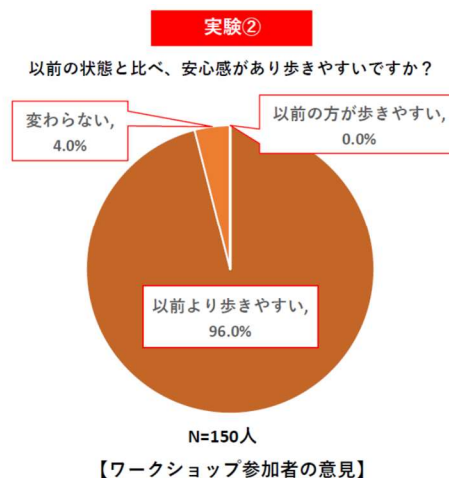
## (3) 実証実験の結果

### ◆実験①～③

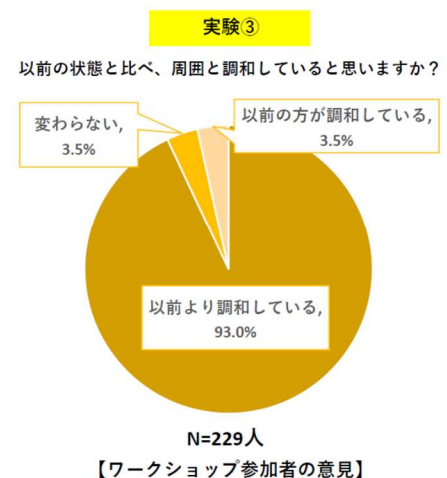
多くの参加者より、以前より「魅力的」、「歩きやすい」、「調和している」などの意見が出された。



- スポットライトは角度もあり、グラデーションが陰影を生み、石垣の素材感もあった。
- 以前の真っ暗な石垣よりも親しみがもてて、夜の散歩をしようかなと思える景色となっていた。
- 石垣にできた穴や植物の影が出る照明がきれいだった。



- 足元がふんわり明るいと感じ歩きやすくなり、散歩したくなる。
- 石垣の照明との相性をいろいろ調節すると、まだまだ魅力を引き出すことができそうだった。



- 色を変えるだけでやさしさが出て、道を照らすことだけが街路灯の役目ではないと実感した。
- 白よりオレンジのほうがほんわかしており、歴史的な雰囲気を醸し出せると思う。
- 既存ガス灯との統一感が出ていた。